中世日本の傑作　益田を味わう
ー地方の時代に輝き再びー
日本遺産認定継続・重点支援地域選定



日本遺産「中世日本の傑作　益田を味わう」は、令和２年（2020 年）の認定から６箇年度が経過し、今年度、認定継続審査を受けました。その結果、認定継続はもとより、他の認定地域のモデルとなることが期待されるとして、重点支援地域に選定されました。

認定からの６年間で多くの皆さんとともに日本遺産を活かした地域活性化を進めてきたことを高く評価されたものです。これまでご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

日本遺産とは？

日本遺産（Japan Heritage）とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化や伝統を語る「ストーリー（物語）」を文化庁が認定する制度です。全国で 104 件のストーリーが認定されています。

日本遺産
JAPAN HERITAGE

益田市のストーリー

海に国境のない時代ー中世。山陰地方の西端のまち益田市は、地理と地域資源を活かして日本海交易を進め、大きな輝きを放っていました。

領主である益田氏は優れた政治手腕を発揮し、経済的繁栄と政治的安定のもと、どこにもない文化が花開きました。

その歴史を物語る寺院や神社、町並み、庭園などの一級品が現在もまとまって残っている益田市は、中世日本の傑作と言え、全国でも希有な中世日本を味わえるまちです。

日本遺産
ポータルサイト

これからの取組

認定継続および重点支援地域に選定された今後は、令和８～ 11 年度を第２期と位置づけ、「日本の中世を体験できる空間（フィールドミュージアム）の創出」を進めていきます。ますます日本遺産を活かして益田が輝いていくよう各種の取組を進めていきますので、引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

これまでの取組



【令和2年】認定発表セレモニー

当時は新型コロナウイルス感染症が流行し、イベントの開催は困難でした。

中世を旅する物語
益田
日本遺産 MASUDA

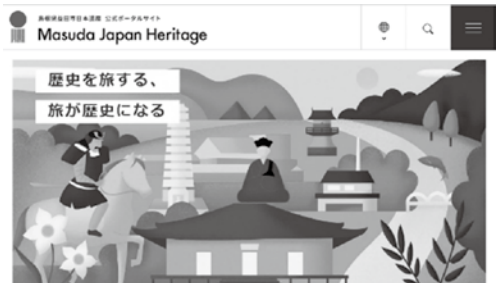
オリジナルロゴ完成



【令和3年】市民劇「中世益田氏」

益田藤兼・元祥の生涯と益田への思いが熱演により再現されました。







益田市文化協会が
おもてなし体制を整備

【令和4年】案内サイン等の整備

点在する構成文化財や観光スポットの周遊、インバウンド向けの多言語対応をサポートする案内サインを整備しました。
中世を感じる体験コンテンツ等も造成しました。







構成文化財を紹介する
カードで周遊を促進

【令和5年】益田市立歴史文化交流館「れきしーな」リニューアルオープン

歴史民俗資料館が日本遺産のビジターセンター機能をもつ益田市立歴史文化交流館「れきしーな」としてリニューアルしました。
日本遺産を案内するガイドの養成や、周遊促進を目的に日本遺産カード等を作成しました。





【令和6年】第 31 回全国山城サミット益田大会開催（シンポジウムと中世益田ビッグフェスタ）

２日間で延べ約１万人の方にご来場いただき、皆さんと一緒に作り上げたイベントとなりました。







【令和7年】誘客イベントの開催（中世益田フェスタ、構成文化財ライトアップ、石見神楽公演等）

中世益田の魅力を多くの方に知っていただくイベントを開催しました。